

中央大学附属中学校・高等学校帰国生入試 国語科出題方針（中高共通）

試験問題は、小論文に加えて、漢字、慣用句を出題します。試験時間は60分。小論文については、課題の評論文を提示し、100字の要約を求め、さらに、筆者の主張に対する受験者の考えを問う、という形式の問題です。

「小論文」の評価は、「A・B・C・D・E」の5段階で行います。100字の要約が的確になされ、筆者の主張を正確に理解していることが示されているもので、なおかつ、自分の考えを適切な例示や論証を交えて、明解な日本語で400字で記述されているものがA評価となります。その基準に則して、B評価は、A評価までには至らぬもの、C評価はD評価とするまでには及ばないものとなります。E評価がつくのは、要約が不的確であり、課題文や設問の内容から大きく逸脱した記述であったり、文意が不明確な箇所が多々あり、字数が大幅に不足していたり、日本語の表現として不適切であったりしたものです。

入試対策については、サンプル問題および過去の中央大学附属高等学校の推薦入学試験問題に挑戦してみてください。具体的な取り組み方法としては、その課題文における「問い」は何か、その「問い」に対する「主張」は何か、さらにその「主張」がどのように「論証」されているか、という点を最初に確認して下さい。この点について自分なりの説明ができたなら、課題文の「主張」を100字程度で要約するという作業をしてください。その上で課題文の筆者の「主張」を踏まえた、自分の考えを論述してみましょう。その際、自分なりの「問い」を立て、その「問い」に対する「主張」を述べ、その「主張」の正しさを例示や説明によって「論証」してください。こうした構成を念頭に置いて400字の文章を組み立てる練習をするとよいでしょう。

漢字については、中学入試は小学校6年生修了程度、高校入試は中学3年生修了程度のものを出题します。

慣用句については、日常的に使用される表現が問われます。日常的に使われない慣用句を出題する予定はありません。普段の読書などを通じて、語彙力を高めておくといよいでしょう。